

教 生 学 第 9 2 4 号
令和7年(2025年)10月14日

各 教 育 局 長
各 道 立 学 校 長 様
各市町村教育委員会教育長(札幌市を除く)
(各 市 町 村 立 学 校 長)

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課長 森 田 靖 史

道内における特定外来生物セアカゴケグモの確認について(通知)

このことについて、北海道環境生活部自然環境局自然環境課長から、別添写しのとおり通知がありましたので、お知らせします。

セアカゴケグモは、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている有毒のクモであり、主に貨物や資材等に付着して日本国内で分布域を拡大しており、咬まれたときに重症化することもあることから、注意が必要です。

つきましては、セアカゴケグモを発見した等の情報がありましたら、次の連絡先に情報提供するようにお願いします。万一、咬まれた場合は、咬まれた箇所を水で洗い、患部を冷やし、多少出血があっても包帯などはせず、できるだけ早く医療機関を受診するようにお願いします。

なお、市町村教育委員会にあつては、所管する学校に送付いただくようお願いします。

記

○ 発見した場合等の連絡先

各(総合)振興局保健環境部環境生活課自然環境係

(学校安全係)



自 然 第 6 8 1 号
令和7年(2025年)10月8日

教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課長 様

環境生活部自然環境局自然環境課長

道内における特定外来生物セアカゴケグモの確認について（通知）

このことについて、令和7年(2025年)10月1日、旭川市の事業所で発見されたクモが、専門家による同定の結果、セアカゴケグモ (*Latrodectus hasseltii*) であることが判明しました。令和元年(2019年)12月9日の岩内町における確認に続き、道内で3例目の事例となります。

有毒で、かまれたときには重症化することもあることから、関係機関等への周知や注意喚起について、ご協力くださいますようお願いいたします。

また、セアカゴケグモを発見した等の情報がありましたら、次の2の連絡先に情報提供くださいますようお願いいたします。

記

1 セアカゴケグモについて

- ・セアカゴケグモ（原産：オーストラリア）は、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている有毒のクモであり、主に貨物や資材等に付着して日本国内で分布域を拡大。

※咬まれたときの症状は、局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、リンパ節の腫張などが生じ、通常は数時間内から数日で症状は軽減する。時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがある。

- ・環境省によると、これまで日本国内において46都府県で確認されており、咬傷被害はあるが、死亡例はなし。
- ・もし咬まれた場合は、咬まれた箇所を水で洗い、患部を冷やし、多少出血があっても包帯などはせず、できるだけ早く医療機関に受診する。

※適切な治療を行うためには咬んだクモの種類を特定する必要があるため、受診される際はできるだけ駆除後のクモを医療機関に持参する。

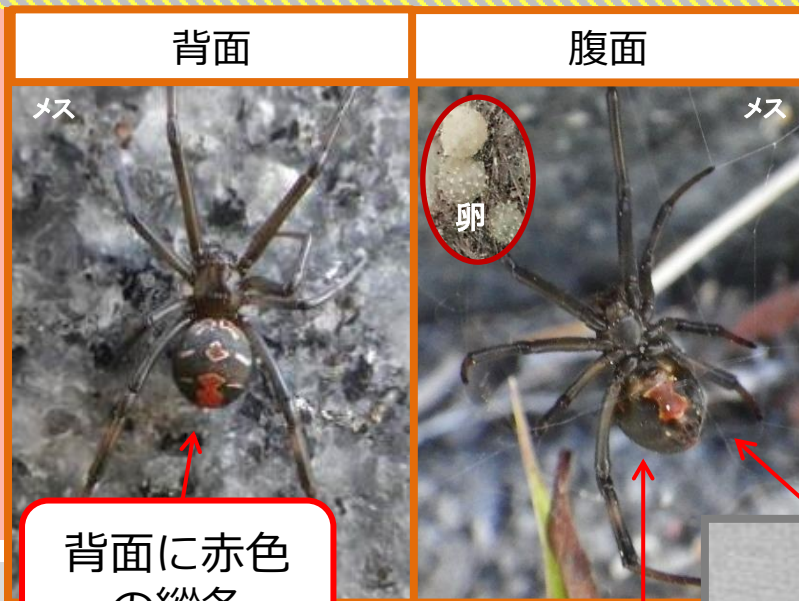
（環境省ホームページ セアカゴケグモ・ハイイログケグモにご注意ください！
URL:https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/r_gokegumo.pdf）

2 発見した場合等の連絡先

各（総合）振興局保健環境部環境生活課自然環境係

担当：自然環境課企画調整係 課長補佐 永仮
主任 高橋
電話：011-204-5203 （内線：24-352、24-366）
E-mail：nagakari.atsuyoshi@pref.hokkaido.lg.jp
takahashi.yoshitomo@pref.hokkaido.lg.jp

セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ にご注意ください！



和名 セアカゴケグモ
科名 ヒメグモ科 (Theridiidae)
学名 *Latrodectus hasseltii*
原産地 オーストラリア
特徴 成熟した雌の体長は、約0.7～1cm。
全体が光沢のある黒色で、腹部の背面に
目立った赤色の縦条がある。

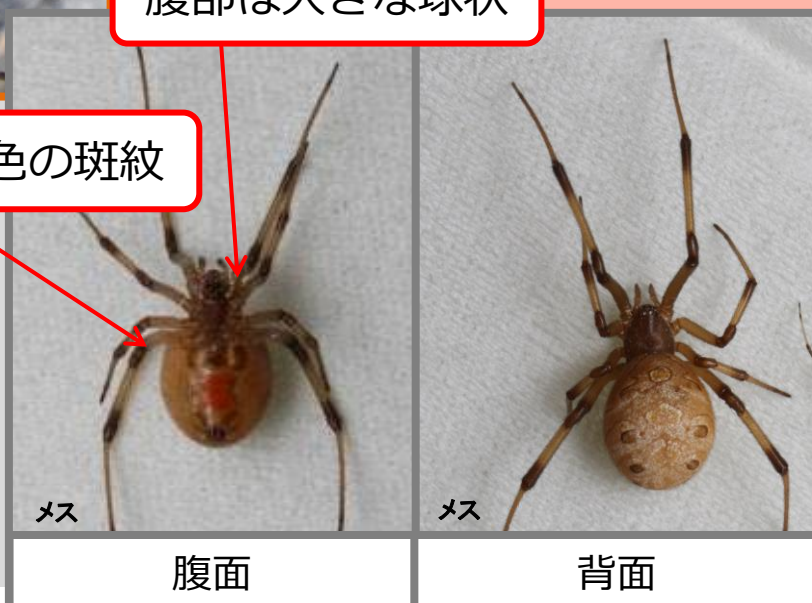
※左写真は、若い個体であり、
成熟すると白い斑紋は消える

腹部は大きな球状

背面に赤色
の縦条

腹面に赤色の斑紋

和名 ハイイロゴケグモ
科名 ヒメグモ 科(Theridiidae)
学名 *Latrodectus geometricus*
原産地 亜熱帯地方
特徴 成熟した雌の体長は、約0.7～1cm。
ハイイロゴケグモの色彩はさまざまで、腹部
背面が真黒のもの、茶色や灰色を基調として
斑紋を有するものなど変異が多い。



腹面

背面

ゴケグモの被害について

※毒をもっているのは雌だけです

咬まれたときの症状

- 局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、硬結、
区域リンパ節の腫張が生じます
- 通常は数時間から数日で症状は軽減しますが、
時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの
全身症状が数週間継続することがあります
- 重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じます

咬まれた場合は

- 咬まれたときは、すみやかに医療機関に
ご相談ください
- 重症化した場合は抗毒素血清による治療が
必要です
- 咬んだクモの種類がわかるように、できれば
殺したクモを病院へご持参ください

咬傷例

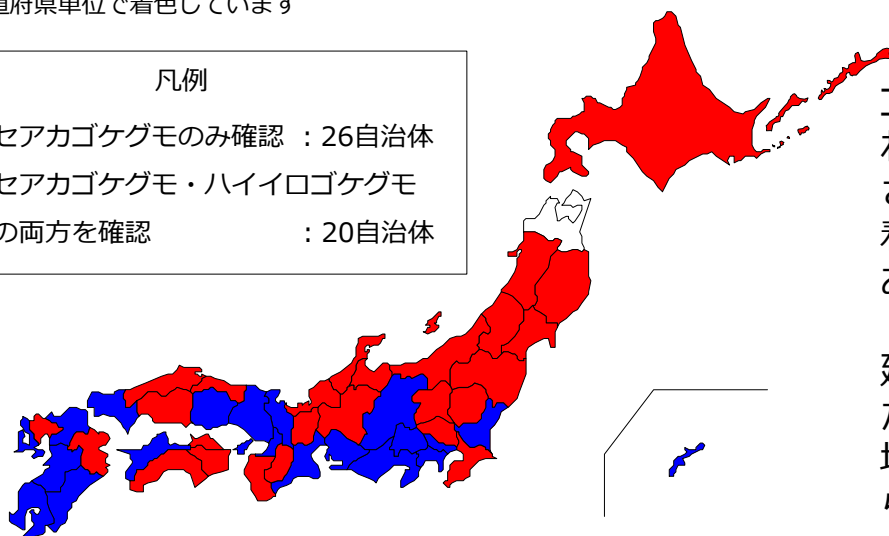
- ゴケグモは攻撃性はありません
が、触ると咬まれることがあります
- 日本では主に6～10月にセアカ
ゴケグモの咬傷例が報告されて
おり、ほとんどが軽症ですが、
重症化することもあります
- 日本ではセアカゴケグモの毒で
死亡した例はありませんが、
オーストラリアでは死者が出て
います
(血清開発後の死亡例はありません)

今までにセアカゴケグモ・ハイイロゴケグモが 確認された都道府県（全46都道府県）

（2025年1月現在）

※ゴケグモが今までに1回しか確認されていない場所も含む
※都道府県単位で着色しています

凡例	
■	セアカゴケグモのみ確認：26自治体
■	セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ の両方を確認：20自治体



セアカゴケグモとハイイロゴケグモは、港湾地域又はそれに隣接する地域で多く発見されており、コンテナ等に付着して侵入してきた可能性があります。

国内では、貨物やコンテナ、建築資材、自動車等に営巣したものが運ばれた結果、生息域が広範囲に拡大したと考えられています。

ゴケグモの生息する場所

- 日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物の窪みや穴、裏側、隙間に営巣します
例)自動車、プランターの底、室外機の裏、庭に置いた靴の中など
- 屋外に置かれていた傘、衣服、おもちゃ等に付着して、屋内に持ち込まれる可能性があります
- ゴケグモに咬まれないように屋外で作業する場合は、軍手など手袋を着用してください

ゴケグモを発見した場合

- ゴケグモを発見した場合は、お住まいの自治体にご連絡ください
- ゴケグモを見つけても、素手で捕まえたり、さわらないようにしてください
- 駆除するには家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を用いるほか、靴で踏みつぶす等の物理的な方法があります
（生きたままのゴケグモを洗い流さないよう注意）
- 周囲にも潜んでいたり、卵がある可能性があるので、よく確認するなど注意してください

ゴケグモを拡散しないために・・・

ゴケグモの国内での分布域の拡大の抑制のため、ゴケグモが生息している地域からの車での移動や貨物の運送のときなど、ゴケグモが車や荷物に付着した状態で移動しないようご注意ください

セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ等のゴケグモ属は、
外来生物法に基づく“特定外来生物”に指定されています

外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害の防止を目的に、外来生物法では特定外来生物を指定し、これらの生きた個体を持ち運んだり、飼育したりすることを禁止しています。セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ等のゴケグモ属については、人の生命又は身体に関わる被害があることから、特定外来生物に指定されています。

外来生物法について詳しく知りたい方は下のURLをご覧ください

<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>